

筑波大学大学院  
生命環境科学研究科

**環境科学専攻**  
**持続環境学専攻**

修士課程（博士前期課程）

博士課程（博士後期課程）



<http://www.envr.tsukuba.ac.jp>

2019年度版



# 専

## 攻の特色

身近な環境問題から地球規模の課題まで、俯瞰的な視点によりその背景や相互の関連を理解する基礎学力を備え、さらに問題解決に貢献し得る研究能力、あるいは社会的な実践能力を持った高度職業人を養成します。また英語プログラムにおいては、国際的に活躍できる環境リーダーを育成します。

### 環境科学を網羅する幅広い分野

気候 気象	水文 科学	水圏 生態	応用 微生物	生物 資源 プロセス
水 環境学	保全 生態	環境 生態 化学	水質 浄化	環境 コロイド
生態系 生態学	流域 管理	衛星 リモセン	植薬 資源	環境 医学
森林 水文	環境 政策	緑地 環境	人文 地理	森林 政策
環境 防災	砂防 工学	自然 災害	廃棄物 管理	地域 経済

### 3つの特色

#### 学際性

本専攻は、複雑化する環境問題を国際的視野で捉えて実践的に解決する能力を養います。また、外国人留学生と日本人学生が共に学ぶ環境で英語コミュニケーション能力を修得することができます。さらに、海外大学・研究機関と協働で国際的教育研究環境を形成しています。

#### 公開性

本専攻は、地域社会における環境教育に貢献しているほか、社会人の再教育を重視しており、多様な人材の育成に取り組んでいます。さらに、行政専門家や研究者による講義や指導を通じて、現代的課題を教育研究の場に還元しています。

#### 国際性

環境問題を改善・解決するためには、専門技術や科学的知識に加えて、人間環境に関する幅広い理解が不可欠です。本専攻は、理学、農学、工学、医学、人文社会科学の各分野を網羅しており、単一の研究分野を超えた柔軟な理解力と研究遂行能力を養うことができます。

# 特

## 別プログラム

本専攻では持続性科学技術政策プログラム(SUSTEP)を実施しています。また、学際性の高い本専攻の教員は、筑波大学・MJIT国際共同学位プログラムや山岳科学学位プログラムにも密接に関わっています。

### 持続性 科学技術政策 プログラム (SUSTEP)

SUSTEPプログラムは、多様化・国際化する環境問題を鑑み、科学分野の専門性と学際的俯瞰力を兼ね備えたグローバル・リーダーを育成する目的で、環境科学専攻と持続環境学専攻に開設されました。環境科学のプログラムは、多彩な科目群から構成されており、専門性を磨く教育を受けることができます。また、インターンシップや環境政策・計画に関わる科目を共通科目として履修することで、それぞれの専門性を政策レベルにリンクさせる能力を醸成します。持続環境学のプログラムは、持続環境学フォーラムやインターンシップの履修、セミナー参加・発表などさまざまな機会を通して専門性と俯瞰力を洗練させ、未来のリーダーに必要な資質とキャパシティを向上させ、持続可能な環境と社会に資する革新性・独創性の高い論文発表へと導きます。



### 関連学位プログラム

#### 筑波大学・MJIT 国際共同学位 プログラム

熱帯アジアおよび地球規模の環境問題の解決と持続可能な社会の創造に資する国際的な高度専門人材を育成するため、マレーシア工科大学のマレーシア日本国際工科院(MJIT)との国際連携している専攻です。本専攻の学生は、約1年間をMJITにて単位取得と研究活動を行います。修了時に、2大学連名の1つの学位(修士(持続環境科学))を取得します。



#### 山岳科学学位 プログラム

山岳地域は、我々に多くの恵みを与えてくれる一方で、自然災害や過疎化など多くの課題に直面しています。本邦初となる山岳科学学位プログラムは、山岳地域を取り巻く諸問題の解決に資する人材を育成するため、筑波大学・信州大学・静岡大学・山梨大学の多彩な教員が連携して取り組むユニークな大学院(博士前期課程)です。修了時に「修士(山岳科学)」の学位を取得します。





# 力

## リキュラムと取得学位

2019年度開講科目 (2020年度版はアップデート中です)

高い専門性と俯瞰的な視座を修得するためのカリキュラムを提供しています。環境科学専攻、持続環境学専攻の修了要件を満たすと、それぞれ修士(環境科学)、博士(環境学)の学位が授与されます。

環境科学  
専攻  
修士  
(環境科学)

環境科学概論\*  
環境科学演習・実習\*  
環境科学セミナー\*  
環境科学研究\*  
環境科学実践実習  
環境科学特講  
環境フィールド実習  
Environmental Field Appraisal  
International Field Appraisal

共通  
科目

リモートセンシング  
Spatial Information Engineering in Environmental Sciences  
Applied Environmental Ethics (Introduction to English Presentation and Debate)

技術  
技法

大気環境論  
地域大気汚染学  
環境物質輸送論  
水環境論

大気  
気候  
水

水環境モデリング  
環境フィールド実習  
Climate System Study  
Introduction to Water Environment  
Integrated Water Science and Technology

保全生態学  
水域生態学  
生態系生態学  
生態リモートセンシング論  
フィールド生態学実習  
植生学  
Terrestrial Ecology  
Vegetation Science

生態

植物環境生理学  
環境生態生化学  
環境微生物遺伝学  
生物相互作用論  
環境化学物質リスク論  
環境ストレス概論

生物  
化学  
医学

地域環境保健学  
食業資源環境学特論  
Soil an Water Environmental Colloid Science  
Ecological Soil Resources  
Environmental Analytical Chemistry  
Environmental Microbiology  
Utilization and Recycling of Bio-resources  
Environmental Health Perspective

環境政策論  
環境政策概論  
景観計画論  
都市・地域解析学  
都市形成史  
住環境計画論  
空間情報科学  
Introduction to Environmental Policy  
Environmental Law  
Environmental Policy Appraisal  
Simulation of Environmental Policy

政策

Introduction to Waste Management  
Solid Waste Management Systems Planning  
Landscape Planning  
Policy and Planning for Forest Conservation

環境防災計画論  
環境防災政策論

環境  
防災

原子力災害環境影響評価論Ⅰ  
原子力災害環境影響評価論Ⅱ  
原子力災害環境影響評価論Ⅲ  
原子力災害特別セミナー  
環境放射能リスク評価インターンシップⅠ  
環境放射能リスク評価インターンシップⅡ  
環境放射能リスク評価インターンシップⅢ  
原子力災害海外特別実習

原子  
力  
災害

持続環境学  
専攻  
博士(環境学)

持続環境学特別演習\*  
Internship in Environmental Studies

Special International Internship  
Forum on Sustainable Environmental Studies

\*必修科目

# 学

## 生生活、経済支援

筑波大学には、学生が安心して研究に取り組むことのできる教育環境があります。

学生宿舎  
アパート

キャンパス内に約3,500室の学生宿舎が整備されています。利用料は、月当たり約2～3万円程度(共益費込み)です。また、大学周辺には学生アパートが数多くあり、東京などの都市圏に比べて手頃な賃料で生活することができます。

授業料免除  
奨学金

経済支援を必要とする学業成績優秀な学生のための入学金・授業料免除制度があります。また、各種奨学金や貸付制度などの支援も充実しています。

教育・研究  
アシスタント  
制度

ティーチングアシスタント(TA)、リサーチアシスタント(RA)、ティーチングフェロー(TF)の教育研究補助業務を通じて、学生の専門家能力を高めるとともに、経済的な支援を行っています。

研究費・  
旅費支援制度

フィールドワークや学位研究調査、国際学会発表のための旅費を支援する制度があります。研究プロポーザル作成・実施・報告という研究者として必要な一連の研究遂行能力を養います。





# 入

## 試情報

幅広い学問分野から多様な経験をもつ学生が本専攻に入学し、互いに刺激を与えながら研究に取り組んでいます。こうした入学希望者の能力を適正に審査するために、本専攻では柔軟な入試体系をとっています。

**8月期入試**（修士および博士課程） 試験日：2019年8月21日（出願期間：7月2日～7月23日必着）

**2月期入試**（修士および博士課程） 試験日：2020年1月29日（出願期間：12月2日～12月20日予定）

◎上記入試はいずれも、令和2年4月入学分です。

◎出願資格、入試内容など詳しい情報は、募集要項をご覧ください。

◎募集要項は、筑波大学大学院募集要項ホームページにて公開します。

<http://www.ap-graduate.tsukuba.ac.jp/course/les/index.html>

◎上記ホームページをご覧のうえで不明な点がある場合は、下記にご連絡下さい。

環境系専攻入試担当：admission@envr.tsukuba.ac.jp

### 最近5年間の修了生の主な進路（復帰先も含む）

プロクター・アンド・ギャンブル・ジャパン（株）、花王（株）、日鉄住金環境（株）、日揮（株）、日本工営（株）、日本信号（株）、（株）大林組、三菱重工（株）、ダイワハウス（株）、鹿島道路（株）、伊藤忠エネクス（株）、石油資源開発（株）、タキロン（株）、（株）日本設計、王子物流（株）、センコー（株）、リケンテクノス（株）、東洋ビジネスエンジニアリング（株）、日立化成工業（株）、東レフィルム加工（株）、味の素（株）、清水建設（株）、共和発酵バイオ（株）、日本電気（株）、日本IBM（株）、（株）NTTデータ、NTT東日本（株）、東京電力（株）三菱UFJ銀行、（株）NHKエデュケーショナル、（株）ウェザーニューズ、応用地質（株）、国際航業（株）、（株）アジア航測、朝日航洋（株）、メタウォーター（株）、（独）水資源機構、（株）ツムラ、不二製油（株）、JA全農、シェブロンジャパン（株）、日本上下水道（株）、（株）つり人社、（株）大田花き、（独）国際協力機構（JICA）、鹿島学園高等学校、半田農業高等学校、千葉・栃木・神奈川県庁、東京消防庁、進学（筑波大学生命環境科学研究科博士後期）、京都大学防災研究所、筑波大学、山梨大学、鄭州大学、国際農林水産技術センター、（独）国立環境研究所、（財）砂防フロンティア整備推進機構、ポスドク研究員（筑波大学）、Ministry of Public Administration, Bangladesh Secretariat, Viet Nam Institute of Meteorology, Hydrology and Environment, Bangladesh Bank, Zhejiang Province Energy Group Company Ltd., China ... etc.

# 交

## 通アクセス

つくばエクスプレス利用で東京からも便利にアクセスできます。

### つくばエクスプレス

秋葉原駅から約45分、つくば駅下車。関東鉄道バス大学循環バスもしくは筑波大学中央行きにて第三エリア前バス停下車。

### JR常磐線

上野駅から土浦駅、荒川沖駅、ひたち野うしく駅下車後、路線バス利用

### 高速バス

東京駅八重洲南口から筑波大学行き、第三エリア前バス停下車  
※環境防災研究棟はTARAセンター前バス停利用。



### 問合せ先

筑波大学大学院生命環境科学研究科  
環境系専攻事務室

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1  
TEL. 029-853-4246 FAX. 029-853-6709 E-mail admission@envr.tsukuba.ac.jp  
<http://www.envr.tsukuba.ac.jp>

